

2008年度（平成20年）度 第3回常務理事会記録

日時：2008年（平成20年）7月5日（土）14:00~16:25

場所：東京大学医学部教育研究棟2階 第1セミナー室

出席者：柴田洋三郎（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、藤本豊士（以上、常務理事）、内山安男（オブザーバー）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、川村知子（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2008年（平成20年）度 第2回常務理事会記録、同摘録（案）

2008年（平成20年）度 第1回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

2008年（平成20年）度 総会記録、同摘録、同議事録（案）

2008年（平成20年）度 第2回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

（1）会員異動報告（正会員2,095名、平成20年5月31日現在）

平成20年3月分（入会者 正会員4名、学生7名、退会者 正会員17名）

平成20年4月分（入会者 正会員5名、学生3名、退会者 正会員4名）

平成20年5月分（入会者 正会員7名、学生2名、退会者 正会員1名）

逝去会員：

大谷克己氏（千葉大学名誉教授／名誉会員）平成20年3月27日逝去（享年85歳）、

武藤 浩氏（愛知医科大学名誉教授／名誉会員）平成19年12月17日逝去（享年83歳）、

久保和子氏（藤田保健衛生大学元助教授／名誉会員）平成20年1月22日（享年80歳）、

瀧澤安子吉氏（群馬大学名誉教授／名誉会員）平成20年4月17日逝去（享年90歳）、

草間敏夫氏（東京大学名誉教授／名誉会員）平成20年5月17日逝去（享年88歳）、

山内昭雄氏（東京大学名誉教授／名誉会員）平成20年5月31日逝去（享年72歳）、

岸 好彰氏（神奈川歯科大学助教授／学術評議員）平成18年12月23日逝去（享年58歳）、

白馬 明氏（あべのクリニック／正会員）平成16年1月20日逝去（享年69歳）

（2）平成20年度支部学術集会開催日程

各支部の学術集会開催日程について報告がおこなわれた。

（3）近畿支部理事補充選挙

標記選挙結果が報告された。なお、当選者は木山博資大阪市立大学教授（13票）、次点者は杉本哲夫関西医科大学教授（10票）である。

（4）2008年度第2回理事会（持ち回り）審議結果報告

近畿支部理事補充選挙の結果を受けて、木山博資教授の理事就任に関する理事会の審議が、平成20年5月22日~28日にメール会議の形式でおこなわれた。その結果は理事16名中14名が賛成（2名は無回答）で、木山教授の理事就任が承認され、総会の審議に付されることになった。

（5）書面表決の実施

木山教授の近畿支部選出理事就任について、可否の総会審議を书面表決の形でおこなうことが報告された。

(6) 名簿作成のためのアンケートの実施

5月30日付けで実施した名簿作成のための機関別アンケートの未回答の講座・教室について、再度アンケートを実施すること、また個人会員に対しても7月上旬にアンケートを発送することが報告された。

(7) 倫理委員会外部委員

倫理委員会に法律問題にも詳しい外部委員を加えることが報告された。

(8) 公益法人改革

公益法人改革の現状について説明があった。

(9) 学会宛文書等

①通知・依頼 日本医学会より「医師の職業倫理指針」他21箇所37件の通知・依頼が届いている。

②書籍、定期通信他 日本医学会より「第133回日本医学会シンポジウム」(DVD)他10箇所11件の書籍、定期通信等が届いている。

(10) その他

国立国際医療センター 桐野高明総長より、基礎医学研究者の減少に関する客観的なデータの有無と提供に関して問い合わせがあった。解剖学会にはこの種の調査は約20年前におこなわれたものしか存在しない。従って今回の問い合わせには間に合わないが教育委員会に新たなアンケート調査を依頼するとともに、様々な機会に講座数の減少・教員不足などによって生じている問題点を訴えていくことが決定された。

2. 編集報告 (藤本編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

両誌の第83巻2号の刊行およびASIにImpact Factorがついたことについて報告があった。

(2) ASI入札結果報告

5月26日におこなったASIの第84巻1号(2009年3月)～第86巻4号(2011年12月)の発行に関する入札結果は、シュプリンガー・ジャパン株式会社に決まったことが報告された。

(3) 次期ASI編集委員会の体制

移行のための作業チームを作って検討することになった。

3. 企画・渉外報告 ((1)は牛木理事より、(2)以下は岡部理事よりの報告)

(1) 平成20年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞候補者の募集

標記2件の公募について報告があった。

(2) 平成20年度一級技術士資格試験

標記試験の実施に関する報告があった。

(3) 日本学術会議シンポジウムの主催

10月28日開催予定の標記シンポジウムを日本細胞生物学会とともに主催することについて打診が来、解剖学会としては受けることにした。

(4) 2009(平成 21)年度総会・全国学術集会における解剖学会・生理学会連携シンポジウム講演候補者案が決まり、次回のプログラム委員会において審議することが報告された。

(5) IFAA Congress 2009

2009年8月16～19日に南アフリカ ケープタウンにおいて開催される標記会議について紹介がおこなわれた。

(6) 生物科学学会連合連絡会議からの臨海実験所支援の声明

日本発生物学会が出した「臨海実験所の活性化について」の声明について、生物科学学会連合会連絡会議 浅島代表より連絡会議として賛意を表したいが、各学会の意見と諾否を教えて欲しいとの連絡が入った。協議の結果、解剖学会として賛意を表することになった。

4. 会計報告 (牛木会計担当理事)

(1) 平成 20 年度中間決算書

標記中間決算書について報告がおこなわれた。

(2) 2008(平成 20)年度総会・全国学術集会収支決算書

標記収支報告書が届いたが、細目を付したものを後日再度提出して頂くことになった。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認

資料をもとに審議がおこなわれ、28 名の新規入会者希望者全員について承認された。

2. 教授就任による学術評議員審査

1 件の申請について審議がおこなわれ、承認された。

3. シュプリンガーとの ASI の契約

シュプリンガーと交わす契約書 (案)、およびブラックウェルからの移行に伴う問題点について審議がおこなわれた。

4. アメリカ解剖学会 (AAA) との今後の関係

AAA 理事長 Dr. Burr との協議の結果、APICA に AAA も参加することにより、日米合同シンポジウムを発展的に解消すること、この件で APCA の関係各国と連絡、調整中であることの報告があり、審議の結果承認された。

5. 2012(平成 24)年度総会・全国学術集会担当校

3 件の希望が出されたが、地域性、過去の開催歴等を勘案し、関係者とも協議した上で決定するとされた。

6. 本会ホームページでの大学院生募集記事掲載の可否

会員より標記の可否を尋ねるメールが届いた。審議の結果、現状ではそのようなページが存在しないので掲載はしないが、今後の検討事項とするとされた。

7. 今後の理事会・常務理事会の日程

理事会は 12 月 20 日に、常務理事会は 9 月 6 日および 12 月 20 日に開催されることが決定された。

8. その他

(1) 「人体の不思議展」

会員より、「人体の不思議展」と解剖学会の関連について、誤解されたまま同展の開催

が各地で進行しているとの指摘があった。この点については、現在解剖学会とは特に関連のない企画である旨、学会員に周知することとなった。

(2) 2009(平成 21)年度総会・全国学術集会

会頭の岡山大学佐々木教授より、外国よりの招聘演者の有無について問い合わせがあった。欧州 Anatomische Gesellschaft には来年度はこちらから訪問する年度で当たるので、招聘演者は無しとして返答することになった。

(3) 実習室のホルマリン対策

会員より実習室のホルマリン対策について、情報提供の要望が寄せられた。これに対しては調査委員会を至急作り、各大学の実態調査、文科省の現在の意向調査をまとめ、会員に提供するとともに、全国医学部長・病院長会議などを通して文科省にも働きかけることになった。

(4) 解剖学会会員名簿の販売に関して

口腔保健協会より名簿の販売は委託業務には入っていないので、別途委託料をお願いしたい旨の要望が出された。これに対しては、名簿の完成までにはまだ時間がかかるので、その間に審議・検討するとされた。